

平成24年 第6回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成24年6月20日(水曜日) 午後2時45分開会/午後5時19分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 石橋雅之、上田政憲、酒谷百合子、小林圭子、旭直樹
会議列席者 掛山事務局長、宮本次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、寺田図書館長、米屋課長補佐

- 石橋委員長 平成24年第6回教育委員会定例会開会宣言
挨拶
それでは議案第17号について事務局よりご説明をお願いします。
- 議案第17号 加賀市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
谷口課長 資料に基づき説明
- 石橋委員長 人事案件でございますが、何かご意見ございますか。一点質問してよろしいですか。基本的にこの団体の中から出てくるというように決まっていますか。
- 谷口課長 特に決まりはございません。ただ、広く私どもスポーツ課としての最高決定機関ということで、このようにしたいと思っております。
- 旭教育長 スポーツ課は加賀温泉郷マラソンということで、3温泉42.195kmの新コースを考えております。それをやると、以前からありますけども支援員といいますかお手伝いを願わないといけないというのがあります。そうするとスポーツ課の最高決定機関である審議会に、やはりそれを想定した背景を持った人を選ばないといけないかなということです。例えば新家さんは看護師会の方ですね。そうすると裏方で来て下さいと、看護師さんを配置することができる。それと滝野さんは85歳で高齢かもしれませんが、元気な老人パワーがあります。この方は新規ではなく、ずっとやっておられて、じゃあこの方に代わる次なるリーダーがいるかというといないんです。ご本人にもこれが最後ですと、リーダーを作っておいて下さいとスポーツ課長の方で念は押ししていると思うんです。後はそれぞれ医師会も当然ありますし、何か加賀市でイベントをしたときに手助けをしてもらわないといけない背景にあるということです。だから場合によっては例えば健康クラブよりも後押ししてくれる団体があるのであれば、そこの代表に変えていくというようにご理解下さい。
- 石橋委員長 はい。他に何かないようでしたら、採決をとりたいと思います。本案に賛成の方は挙手をお願いします。
- 全委員 全員挙手
- 石橋委員長 全員賛成を持ちまして本案は承認されました。宜しく願いいたします。そ

れでは、議案第 18 号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 議案第 18 号 加賀市文化振興審議会委員の委嘱について
田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長 はい、この件に関しましても人事案件でございます。何かご質問はございますか。

全委員 意見なし

石橋委員長 特にございませんか。ないようであれば本案件につきまして賛成の方は挙手を願います。

全委員 全員挙手

石橋委員長 全員賛成を持ちまして本案件は承認されました。宜しく願いいたします。続きまして、議案第 19 号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 議案第 19 号 加賀市文化財保護審議会委員の委嘱について
田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長 はい、この件に関しまして何かご質問ございますか。

全委員 意見なし

石橋委員長 特にないようであれば、これも挙手を持って採決をとりたいと思います。本案件に賛成の方は挙手をお願いいたします。

全委員 全員挙手

石橋委員長 全員賛成を持ちまして本案件は承認されましたので、引き続きよろしく願いいたします。続きまして、議案第 20 号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 議案第 20 号 加賀市教育及び文化振興事業補助金交付要綱の一部改正について
梶谷課長 西出課長 田嶋課長 資料に基づき説明

石橋委員長 ただ今の説明につきまして何かご質問ございますか。確認しますが、補助事例にあったけども、その中に現状に即していない部分があったからそれを追加したと捉えればいいですね。

梶谷課長 そうです。それと監査等の事務執行の方できっちり明確化するようにという指示がございましたので、今回挙げさせていただいております。

上田委員 一昨年だったと思うんですけど、私区長をしまして錦城中学校の後援会に出たんです。そのときに、ちょうどその年から補助金が出るという話が出て、実は町費の方から例年一所帯 300 円ずつ出していまして、それを予定しておりましたところ、市から補助が出るので半額にしますと、多分その辺り

から始まっているんですね。

掛山局長 教育後援会のお話とこれは全く無関係でありまして、従前、教育後援会費というのが一部市議会議員の中で問題になりまして、学校に関する経費は市が持つべきという議論がありました。ただ、旧加賀市では篤志家というか住民の方が教育に熱い思いがありまして、教育後援会というところで寄附をいただいております。それは学校の別会計でして、その会計で備品を買ったり、一部修繕もしていたという実態がございまして、それを議会で指摘を受けました。学校を修繕するのは市であって、それを教育後援会のお金でするのは問題があるということで、教育委員会で各教育後援会の方に本来市が支出すべきものについて調査をかけました。錦城中学校については約半分が市の負担すべきものでした。そういう関係で地元の方が負担する部分が半額になったのではないかと思います。

上田委員 時期を同じくして錦城小学校も錦城東小学校もなったようですが。

掛山局長 一斉に説明をさせていただいて各学校に配当しております。配当額が増えたんですけども、私どもの説明では教育後援会費は極力とらないようにして下さいとお願いした経緯がございまして、それでよろしいでしょうか。

上田委員 はい、ありがとうございます。

石橋委員長 他に何かございまして、よろしいですか。この追記したことによって完全に網羅されたと考えていいんですね。

梶谷課長 はい。その通り今の考えられるところです。あと社会教育の振興ということで18ページが一番上ですけども、社会教育関係団体活動育成事業は実績がございませぬけども今後考えうるということで、担当課の方で出来る限り考慮しております。

石橋委員長 それでは質問もないようでございますので、本案件について賛成の方は挙手を願います。

全委員 全員挙手

石橋委員長 全員賛成を持ちまして本案件は承認されました。宜しく願いいたします。続きまして、議案第21号について事務局よりご説明申し上げます。

■ 議案第21号 加賀市スポーツ推進事業補助金交付要綱の制定について
谷口課長 資料に基づき説明

石橋委員長 ただ今の説明につきまして何か質問ご意見ございまして、

梶谷課長 一部訂正をお願いしたいと思います。20ページの別表の順番ですけども、第3条の補助対象者に合わせまして、発信事業を一番下に持ってくる形で要綱を制定させていただきたいと思っております。『第3条(1)スポーツの推進及び発展を図る事業を行う団体』は下から2つが該当します。『(2)スポーツを通じて本市を全国に発信する団体』は別表の一番上の欄が該当しますので、順番を

入れ替えさせていただきたいと思います。

石橋委員長 表の順番を変えるということですか。

梶谷課長 はい、そうです。表の一番上のものを一番下に持ってくるということだと思います。

石橋委員長 ただ今の意味わかりましたか。順番に合わせて表の場所を入れ替えるということですね。他にないようでございますので本案件について賛成の方は挙手を願います。

全委員 全員挙手

石橋委員長 全員賛成を持ちまして本案件は承認されました。それでは本日の審議事項 5 件全てを終了いたしました。続きまして報告案件に入りたいと思います。報告第 8 号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 報告第 8 号 平成 24 年度 6 月補正予算について
梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 何か質問ございますか。『3 基金残高の見通し』という表がありますね、取崩額 550 万円が今期予定されているんですね。これは振興基金の伝建と町屋再生の方に使われるということですね。

掛山局長 そういうことです。

旭教育長 寄附していただいた方の守秘義務というものはあるんですか。

掛山局長 いえ、ないです。

旭教育長 そうしたら披露したらだめなのですか。

梶谷課長 御菓子城の北川さんです。

掛山局長 法人からの寄附ということで、御菓子城加賀藩からです。御菓子城ができて 25 周年を記念してということでございます。

石橋委員長 新聞発表はありましたか。

掛山局長 はい、新聞に載りました。

旭教育長 500 万円以上の寄附があった場合は紺綬褒章といって褒章の対象になります。

掛山局長 法人は 1000 万円で個人は 500 万円です。寄附者に確認をしております、希望されていないということです。

旭教育長 この辺も言わないといけない。守秘義務があるところはいいいですけども、加賀市に元気を与えるために私としてはソフト事業に充ててほしいと思うのですが、こんな形で入れると家屋修理のどこかに消えてしまうわけですので、事務局としてはいつでもこれがほしいんだという準備を各課で作っておかないといけない。

掛山局長 寄附を受けるか受けないかは市長協議で了解をされていまして、使い道についての決定の受け皿を教育委員会で受けるという、基金としての寄附経緯になりましたもので、私どもでなくてもよかったです。まちづくり振興基金

旭教育長 なら財政でも建設部でもよかったんですけども、たまたま伝建の方にウェイトを大きく使うという意味合いで教育委員会が受けることになりました。

旭教育長 まだ6月ですけども各課戦略を練って、こういう教育に熱心な市民がいっぱいおられて、加賀市の教育のためにという声も聞きます。そうした場合に有効に使う方法を各課が、もしも100万、200万単位できた場合にこれに充てたい、こういうソフト事業に充てたい、それがまた予算に繋がっていくわけですから、やはり行政ですので加賀市教育活性化のために何ができるかという発想で計画しておいてほしい。もしあった場合は皆さんに諮って使い道を有効にしていけばいいのではないかと思います。これは私の感想です。

石橋委員長 私から質問を一つ。どうしてもお金の話になるのですが、今期の取崩予定額は550万円、昨年一昨年の取崩額はどれくらいあったのですか。

掛山局長 記録は持っていないので後で金額を言いますが、実はここにはもう一つ『基金の財源は合併特例債のほか、民間都市開発推進機構からの助成金』私どもはファンド基金と言っていますけども、市では大きなまちづくり振興基金というのがあります。これは合併時に金額を積む必要がありました。これはある期間がきましたら取り崩して市の財源になっていくんですけども、その他にもう一つ、その中の一部を利用させていただいて、民間都市開発推進機構、加賀市、それから一般市民から寄附金を募ってファンド基金というものがありまして、ここがちょっと重なっております。そのファンド基金を使うのが今年度は550万円ということです。去年の金額は今調べます。

田嶋課長 まちづくりファンドにつきましては、教育委員会は橋立と東谷の伝建地区が対象でございます。他にも建設部の方で大聖寺地区の町屋再生で同じくそれを使っておりますので、今私どもで対応できるのは橋立と東谷の分についてです。

石橋委員長 まちづくり振興基金というのは、建設部であったり、あるいは教育委員会であったり、いろんな部署がそれなりにある程度使っていける基金であると考えればいいんですね。

掛山局長 市全体で使えるということです。

掛山局長 【ホワイトボードを使って基金について説明】

田嶋課長 先ほどの委員長さんからのご質問で、前年度のまちづくりファンドの支出の状況でございますが、平成20年度は250万円、平成21年度は276万4千円、平成22年度はぐんと増えて1,191万1千円、平成23年度は739万円、今年度は550万円を予定しております。以上でございます。

掛山局長 それは建設部と合わせてですね。

田嶋課長 はい。

梶谷課長 補足になりますけども、私、去年まで建設部にいましたので説明させていただきます。町屋の方はほぼ出揃ったという形で、段々減っていく状況でござ

石橋委員長 ございます。橋立も減っており、東谷の方がやはり増えるということで予算付けされております。このファンドは教育委員会と建設部が話し合いを持ちまして、大体充てる件数を決めて対応するという事になっております。それでは、その他質問等なければ報告第9号に参りたいと思います。事務局よりご説明をお願いします。

■ 報告第9号 平成24年第3回加賀市議会定例会（6月）について
梶谷課長 資料に基づき説明

旭教育長 教育振興基本計画については、パブリックコメント中ではありますけども、今一度意見を整理して残された最後一回審議していただいて、その答申を受けて我々5人で市民に出すときにもう一度検討しないといけない。確かにご指摘されるように子どもの貧困問題とか環境問題とか言われましたが、全部は網羅できないと思います。これを全部やっていったら研究論文になっていって、反対に身動きがとれなくなると思います。国も県も全国の市町もこれをやった結果、結局みんな含まれますよという文案でわざわざ終わるんです。ただ、これを作った狙いは、まず市民に周知するという事です。これを作ることによって周知する。我々事務局もまた見直すということが狙いでしたので、これは憲法を作るわけでもないし、当面10年間ですから臨機応変にまた変えていきたいと思っております。ただ、市長が言っておられる子どもの貧困問題については、どこかで一文入れないといけないと思っております。これはまた事務局で対応して、また皆さんにお諮りしたいと思います。

石橋委員長 各自また読んでいただくようお願いいたします。よろしいですか。それでは報告第10号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 報告第10号 古九谷産地論争紹介DVD制作企画競争審査結果について
中矢次長 資料に基づき説明

石橋委員長 何かご質問、ご意見ございますか。

小林委員 今おっしゃった発信方法は全部例の予算の中で収まるのですか。

中矢次長 そうです。399万円で契約いたしましたが、その範囲内で全て済むということです。

小林委員 割安感があるわけですね。

中矢次長 ものすごい割安感です。

石橋委員長 インターネット配信はどのようにし、誰が管理するのですか。

中矢次長 内容は大体5分位でダイジェスト版に縮めます。それを当館のホームページ上で視聴可能にしたいと思っております。当館はサーバーを持っております

ので、そちらで管理します。それから間もなくでございますけども、開設予定の加賀市教育委員会のホームページ上にもリンクを貼って下さるということなので、そちらからも覗きにいけるようにして、より多くの方が視聴できる形にしたいと思っております。

石橋委員長 間もなく開設ですか。

掛山局長 間もなくといっても1ヶ月くらい後になるかと思いますが、今色々大きな問題を各課抱えているので、それと並行して行いますのでもう少し時間がかかるかなと思います。

石橋委員長 更にもう一点。DVDに関して、こういう物ができたというパブリシティは何か考えていますか。

中矢次長 500部を作るわけですけども、まずは教育委員会で作ったということで各学校の視聴覚教育に使っていただくために配布したいと思っております。それから観光宣伝とか、市長の思っておられるのは遠い将来映画化ですね。その宣伝材料にという思いがあります。来年の1月に阪急梅田本店のグランドオープンに吉田屋展の展覧会を開催することになっておりますが、そちらの会場でもこのDVDを流す予定ですので、相当数の方がこれを視聴できると考えております。

石橋委員長 私が言ったのは、DVDを活用していかにパブリシティということではなくて、例えば新聞発表するとか、その当日にこんな物ができたというパブリシティは考えておられますか。

中矢次長 実は今回の5社中、各新聞社、放送局に絡んだ会社が応募しております。採用されたのは北陸朝日でございますので、これをもって他社が大きく宣伝したり記事に載せたりとかは中々感情上難しいのではないかと思います。私どもはそういうものができたということについては記者クラブを通じて出すつもりでいますが、記事なるかはわかりません。

石橋委員長 わかりました。私はB、C、D、E社が何者か知りませんので、マスコミ関係ばかりだと難しいのかもしれないですね。

旭教育長 私も直接この審査にはあたっておりません。逐次報告を聞きますと、やはり市長の意向もありますし、学校教育に活かしたいという思いもありますけども、北陸新幹線が平成26年につくということ、今まで加賀市は阪神・近畿方面に知名度がありますけど関東はまだ未開拓である。やはり関東へ打って出る。これはこないだも散歩をしていたら鶴仙溪で千葉県の方と出会ったんですけども、こんな良い所があるんですかとか、知らなかったとか、開拓の余地がまだまだ関東方面にはあるんです。そのためにもこちらの売りである古九谷論争で宣伝したい。やっぱり九谷焼といえは全国的ですから、特にデザインというのは伊万里に負けない、私もすごいと思っております。どんどん打って出ればいいのではないかと思いますし、学校で故郷に志のある子ども達を育てたいというキャッチコピーもありますので、DVDを見せながら故郷学に繋がっていけばと思います。

石橋委員長 追加で作ることは考えられるんですか。
中矢次長 それはできます。マスターは私どもが所有することになるので、ダビングは
できますし、使用权も私どもにあります。
石橋委員長 それでは報告第10号はこれを持って終了したいと思います。その他(1)を教
育長お願いします。
旭教育長 これは最後に回してもらえませんか。
石橋委員長 わかりました。それではその他(2)について事務局より説明をお願いします。

■ その他(2) 学校適正規模・適正配置に関する先進地視察(三重県
伊賀市)について

梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 日程の確認だけしておきたいと思います。7月12日、各委員さんご都合はい
かがでしょうか。大丈夫ですね。3時間で行けますか。
梶谷課長 名神を通りまして、新名神に入って甲賀ICで下ります。信楽から少し山の
方に入ったところになりますので、それほど時間はかからないと思います。
一時期他のところで時間を取り過ぎたという事例もございますので、議会で
一度視察へ行った経験もありますし、大丈夫かと思います。
旭教育長 ただ、今伊賀市役所は工事中ですので確認をお願いします。
梶谷課長 はい、確認します。
石橋委員長 現地では2時間ほどの時間内で話を聞き、視察とありますが、どこか見るこ
とになるのですか。
梶谷課長 話を聞くという形です。
石橋委員長 行くことが視察であって、その中で話を聞くことに専念するということす
ね。わかりました。
掛山局長 よろしいですか。学校の適正規模・適正配置については、一度勉強会をし
ましたけども、もう一度資料を揃えますので、7月12日までに皆さんに時間を
とっていただきたいと思います。また庶務課の方から日程調整をさせていただきます
ので宜しく願いいたします。
旭教育長 行くために我々も勉強をしないとイケない。そうした場合に提案ですが、委
員さんに申し訳ないのですが、みなさんお仕事を抱えておられて我々だ
けの勉強会であれば、ご都合によって夕方5時とか7時からとかでもよろし
いのですか。
掛山局長 事務局としては構いませんけども、夜の7時になると出にくいのではないかと
。
旭教育長 そうしたら梶谷課長さんの方で、委員長さん、委員の皆さんに時間を聞いて
調整して下さい。
梶谷課長 はい、また調整させていただきます。
石橋委員長 わかりました。では、この段取りで参りたいと思います。8時45分市役所集

合ということで宜しくお願いいたします。続きまして、その他(3)について説明をお願いいたします。

■ その他(3) 加賀市教育振興基本計画に対するパブリックコメントについて

梶谷課長 資料に基づき説明

石橋委員長 これに関して何かございますか。

掛山局長 この計画でいきますと、委員の方には大変恐縮ですけども、今の7月の視察、勉強会、8月には答申を受ける会、更にそれを審議する会と、お集まりいただく回数が増える可能性があります。もちろん日程調整を行った上でですけども、その辺だけご了解いただきたいと思います。

石橋委員長 29ページの市議会議員からの質問(質問通告)については、本会議においての質問だけですか。教育民生委員会で出た話はここに含まれていますか。

掛山局長 ないです。

小林委員 すみません、28ページの8番の文中に突然9と出ているのは何ですか。

梶谷課長 これはミスです。すみません。

石橋委員長 それでは加賀市教育振興基本計画、7月末の第6回審議会の日程がわかたら教えて下さい。その他なければ、その他(4)について宮本次長、説明をお願いします。

■ その他(4) 平成24年度加賀市教育委員会学校指導課基本方針について

宮本次長 資料に基づき説明

石橋委員長 何か確認したいことはございますか。

旭教育長 今宮本次長が言われたとおりで、加賀市教育委員会で作った学校指導課基本方針は、全小中学校がこれを持って動いております。どの学校がどの研究授業をしているかという一覧もあるんですけども、ベクトルは皆前向きになって各学校熱心にやっておられます。小学校は特にそれを感じます。絶えずホップステップジャンプではないですけども、意欲は伝わってきますが世の中は今大きく変わっているもので、私も後でフィンランドの報告をしますが、明治以降のレクチャー型の教育をずっと繰り返しても教育の二極化を作っていくのではないかと私は思います。だから教師が変わらなければ子どもは変わらないし、子どもに意欲が出てくれば親も納得します。親も変えないといけませんけども、まずは教師から変わっていきこうということ動いていきます。そういう点の基本的な図なんです。私がぱっと思ったことで、まだ指導主事には相談していないんですけども、私には発言機会がいつも与えられているんですが、教育委員さんには与えられていない。これは問題で

はないかと思いつつ話しているんですけども、各教育委員さんに学校に入
っていただいて、例えば小学校を見てソフト面、ハード面ですね、教育委員で
すから授業の専門的なところは指導主事に任せて、学校の空気、雰囲気、子
どもの様子をお伝えして、チェックする項目を1ペーパーに記入して学校に
返すということができないかと思っています。訪問して先生方との話し合い
の場も必要だと思いますけど、あの日程を見ていると先生方は授業研究で
一生懸命で教育委員と話す時間が中々持てないんですね。だから話したくて
も話せないし、掲示物見たり、子どもの表情を見たり、先生のはつらつとし
た姿を見たりしたら何か言ってあげたいと、おそらく全国にもそういう教育
委員会があると思うんです。参考にできる場所があったら参考にして、う
ちに指導主事3名おりますから、1ペーパーで多くても裏表くらいで感想を
書くところがあってもいいですし、何か出していくような体制を作ったらど
うかという私の発案なんですけど、どうでしょうか。

石橋委員長

確かにそういうものがあると、観点、課題が共通化されるんですね。違う観
点も大事なんですけど、一方で共通の課題で評価する紙があってもいいと思
います。今おっしゃったように、チェック項目の様式があってもいいでしょ
うし、フリー記述の部分もあっても然るべきだと思うし、どういう形がいいの
かすぐにはわかりませんが、何か参考になるものがあれば是非取り入れて
やってみるのもいいのかと思います。

旭教育長

我々は教育委員ですので、学校の授業の中身は学校指導課にお願いする。
我々はハード・ソフト両面ですね。教育環境の整備をしていくのが我々の仕
事ですから、そういうところを見に行かないといけない。だから先生方が沈
んでいるようだったら頑張ってくれと言わないといけないし、予算が付くか
付かないかは別として、しっかり5人で教育委員会としてはこう考えており
ますと、この学校はあまりにも校舎のここが問題だとか、5人の合意で首長
部局に言っていくような資料を作らないといけない。財政課の方としては優
先順位を付けてやってくれるとは思いますが、出来ることと出来ないこ
とはある。ちゃんと計画訪問をしているわけですから、何もしていないと言
われると困りますので、意見をまとめるようなペーパーがあってもいいので
はないか。今年は10校終わったのですが、これをやっていくためには、ま
ず私は学校長に校長会を通して言わないといけないと思っていますので、申
し訳ないのですが次の訪問からできるというわけではありません。受け入れ
る学校側に、教育委員さんがハード面とソフト面の全体的なことを見てくれ
ると先に言うておく方が職員にも指示ができますし、こういう連携プレーで
計画訪問をやった方が、私は緊張感が生まれるのではないかと思います。授
業は授業でやってもらえればいいですよ、これは当然指導主事が入りますか
ら。小松はどうしているか崎山所長に聞いていたんですけども、小松は教育
委員さんが最後まで残られて、先生方と指導主事が話した後に話し合いがあ
るみたいなんですけど、形骸化している。中々そういう場では本音で言えない

ところもあって、形はあるけれども、と言っておられました。現場の先生と教育委員が話すことは大事なんですけども、その場では中々難しい。1 ペーパーでやる方がお互いに、それが蓄積されれば次の段階へ進めると思います。

石橋委員長

いいと思うことに関してはやってみればいいと思います。

旭教育長

うちの指導主事はよく頑張ってくれていると思っっているんですけども、やっぱりアイデアも出してもらって、委員さんに見てもらいたいソフト面、事業については次長が説明したように、これも知ってもらわないといけない。ハード面、あとは子どもや先生、それから管理職の対応など大きなところを見ていただければという提案です。原案ができたならまた次回出します。

小林委員

質問です。先ほど県の指定校は 16 校あるとおっしゃっていましたが、例えば資料に書いてある県の事業一つ一つに対して指定校があるわけですが、それは事業に対して指定校は 1 校ですか。

宮本次長

色々あります。1 校の学校もありますし、2 校で対応している学校もあります。例えば『道徳推進拠点校』という心の教育がありますね。これは山代小学校 1 校だけが受けています。『家庭や地域との連携』については、連携ですから東和中学校だけではできませんので、動橋小学校と東和中学校を指定しております。あと『学び指針推進指定校』は、錦城東小学校と山中中学校を今年指定しております。

小林委員

何をお聞きしたいかと言いましたら、そういう一覧表があれば、努力なされた成果というか、取り組み、比較とかがわかるかなと思うんですが。

宮本次長

どの学校が今どういう指定を受けているかがわかればいいということですか。

小林委員

はい。

宮本次長

それはあります。今年指定していますので、成果はこれからです。

小林委員

そういうデータというか、1~2 年後にどのように成果があがったとか。

宮本次長

それが発表会ということだと思っんですけども、1 年目に発表会があったり、2 年目に発表会があったりです。それも教育委員の方にご案内します。今年たくさんありますから、小学校、中学校の加賀市学校研究という部分についてはこちらが主催ですからご案内できると思います。ただ、県の場合は今すぐには言えないですけど、学校のことですからご参加いただければと思います。どの学校がどの指定を受けているか、学校一覧を作り直して提出します。

旭教育長

次回 5 人に出して下さい。

宮本次長

はい、わかりました。

石橋委員長

それでは、その他(5)について説明をお願いします。

- その他(5) 加賀市 PTA 連合会役員交流会について
西出課長 資料に基づき説明

石橋委員長 これにつきまして何かご質問はございますか。テーマ1と2にそれぞれ誰が入るかはまだ決まっていないのですか。

西出課長 はい。

石橋委員長 それを次の教育委員会で決めるのですか。

西出課長 はい。そう思っているんですが、本当は今決めていただいた方がお話の用意が出来ていいと思うんですけども。

石橋委員長 むしろご希望があればどうぞ。

旭教育長 1と2に、5名を2人と3人に分けるのですか。

西出課長 はい。

石橋委員長 このテーマ2つに対して、例えば酒谷さんと私が1でいいと言うのか、それを聞くしかないのかなと思いますけど。それに対して思うことをまとめておいて、これに向けて自分の思いを練っていただければそれでいいのではないかと思います。今決めますか。前回、教育長はどちらに入るといったお話があったかと思うのですが。

掛山局長 前は5つ項目が出ていたと思うのですが、多すぎるということで絞りました。

西出課長 教育長は2番目の中学校グループに入っただけだと思います。

旭教育長 はい、では私は2に入ります。

小林委員 私2に入ります。

酒谷委員 では私は1に入ります。

上田委員 2でお願いします。

石橋委員長 では1に入ります。

旭教育長 1は学校の統廃合ですか。

石橋委員長 少子化に伴う教育環境の整備ということですから、基本的には適正化の話に近づいていきますね。

西出課長 あとは橋立小中連携とかもありますし。

旭教育長 2番目は何ですか。

西出課長 子どもの貧困と家庭教育の実態の問題が出てくると思います。

掛山局長 保護者の方は、加賀市の学力が低いという一般認識を持っておられるんです。その辺も入ってくるかもしれません。

小林委員 統廃合のことはよく理解できておりません。

掛山局長 その前に視察がございます。

石橋委員長 変えますか。

旭教育長 小林委員さんは2番目じゃないですか。

小林委員 家庭環境の問題になると酒谷さんの方が詳しいですから、適任でいらっしゃるかなということで交代しましょうかというお話が出たんですけども、私は統廃合についてもちょっと。

掛山局長 視察に行かれた感想を述べるだけでも結構だと思います。

石橋委員長 それでは入れ替わりで、小林委員さんが1番、酒谷委員さんが2番でお願い

旭教育長 します。
西出課長 5人教育委員がいるから5つのテーブルができるということですね。
旭教育長 はい。
旭教育長 目的は子どものためにどうしていったらいいかという共通目標をお互いに持っているわけですから。
石橋委員長 それでは続きまして、その他(6)について説明お願いいたします。

■ その他(6) 平成24年度自然体験学習について
西出課長 説明

酒谷委員 これは各学校で希望を出されるんですか。
西出課長 はい。ただどうしても30名しか大土は泊まれないので小規模校となっております。ですから先ほどのパブリックコメントでもそういう施設を作ってくださいという要望が出てきています。大きい学校は小松市の方へ行っていますので。
石橋委員長 どこですか。
西出課長 大杉少年自然の家です。
宮本次長 あまりいい参考ではないんですけども、竹の浦館の横に加賀市の瀬越キャンプ場があるんですけども、実は6月中にこれまでずっと松喰い虫の薬剤散布をしているんです。その時期が一番合宿のメッカなんですね。我々としては加賀市の施設を作ってほしいんですけども、中々その時期にキャンプが出来ないということで去年も難しく、今年も段々希望がなくなってそこではしていないんです。もう一つ言えば、キャンプ場そのものが私から見ても、プログラムを組んでいく上でそれほどいいものではないんです。内容としても夜の肝試しをするか、あるいはテントを建てても暑いところですし、とても施設設備がよくない。そこが課題で、大土は小規模校にとってはいいのですが、大規模校ができる施設がありません。県民の森なども考えているんですけども、使うこと自体はそれほど高くはないですが、避難場所が必要ですからそれを借りた場合ものすごく高く、個人負担が多くなるので簡単に行きなさいと言うことができないのがジレンマです。
掛山局長 県民の森は県の施設で指定管理なんです。これは来年に向けてですけども、使用料金については相談の余地があるとおっしゃっているので、交渉を一度していただきたい。
宮本次長 例えば、普通テントを張るんですね。テントの設営料はそんなにかからないですし、テントは瀬越のキャンプ場にありますからそれを借りて持って行くことはできるんですけども、テントが潰れたらそこで一晩過ごさないといけないので避難場所として家を確保しておかないといけないんですね。そこを確保するとなるとかなり高いんです。ただ、瀬越だったら避難場所は安くあるんです。薬剤散布なんですけども、来年からは薄いものを撒くから大丈夫

だという話なんですけども、薬を撒いていることを保護者が知ると中々難しい話でもあります。

石橋委員長 わかりました。その他ないようでしたら、その他(7)について事務局より説明お願いいたします。

- その他(7) 全国健勝マラソン加賀温泉郷大会実行委員会の開催について
谷口課長 説明

石橋委員長 続きまして、その他(8)について説明お願いいたします。

- その他(8) 石川縣市町教育委員会セミナーの開催について
梶谷課長 説明

旭教育長 去年も何かあって委員さんだけで行ってもらいましたね。

小林委員 永平寺のですね。

石橋委員長 私は7月2日に別の組織の役員会がありますので、その総会日程が決まってからでないとわかりません。申し訳ございません。

梶谷課長 詳しくはまたご連絡いたします。

旭教育長 私は校長会があるので行けません。

宮本次長 訂正です。先ほどの指定研究の数なんですけど、4月16日付だったので2つ増えまして18になります。

石橋委員長 それでは(2)～(8)まで終わりましたので、(1)に戻りまして教育長お願いします。

- その他(1) 石川県北欧教育事情視察報告について
教育長 報告

石橋委員長 ありがとうございます。それでは次回日程を梶谷課長お願いします。

梶谷課長 はい、次回ですが7月25日午前10:00からということで宜しくお願いします。

石橋委員長 宜しくお願いいたします。それでは全ての案件が終了いたしましたので、以上を持ちまして平成24年第6回教育委員会定例会を終了させていただきます。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。